

広報課からのお知らせ



テレビ

テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30

7月 5日 悪徳商法から身を守るために

7月12日 部落差別の解消の推進に関する条例

7月19日 和歌山県環境大賞

7月26日 林業の担い手を育成!

県民チャンネル

月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド

毎月最終金曜 19:30



ラジオ

和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00

※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け! 県政最前線 火曜 15:40

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

紀の国わかやま文化祭2021

第36回国民文化祭・わかやま2021 第21回全国障害者芸術・文化祭わかやま大会

令和3年10月30日(土)~11月21日(日)

啓発ウェアの販売開始

和歌山県で初開催となる「紀の国わかやま文化祭2021」を幅広くPRするため、啓発ウェアを販売します。今回は、24種類もの文化さいちゃんが刺繍となつてウェアに表現されています!

さいちゃんの刺繍デザインは、お好みで選ぶことができます。ぜひこの機会にウェアを購入いただき、文化祭と一緒に盛り上げていきましょう! 販売場所など詳しくは文化祭公式ホームページでご確認ください。



問 第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山県実行委員会事務局

☎073-441-2417 FAX073-423-7120

紀の国文化祭



知事メッセージ

県民の皆様へ

コロナを見る眼



新型コロナウイルスが世界で猛威を振るっており、日本も例外ではもちろんなく、政府が緊急事態宣言を出し、全土に適用されるようになり、解除になるまで、日本国民がこぞって行動の自粛、営業の自粛で、人と人の接触を少なくして、コロナを見事下火にしてみせてくれました。

欧米各国は、日本よりもっと強い強権を発動し、外出の禁止や事業活動の停止をしたのにもかかわらず、感染者が思ったほど減らなかったのと対照です。しかし、そういう日本も、外出や営業の自粛によって、国民経済は壊滅的な打撃を受けました。和歌山県も、特に観光立県ですから、国外の観光客がほぼゼロになった上に、県外との往来自粛で、大都市以上の打撃を受けています。このままだとコロナは抑えられても、我々の生活が死んでしまうという局面に追い込まれています。

どうしたらいいのでしょうか。その前にどうして日本は、自粛でコロナが激減したのに、欧米は減らないのかと考えてみました。欧米には、日本のような感染者を見つけ出して隔離するという感染症法がなく、それを行う保健所もあまり機能していません。だから、感染が拡大すると対策は、戒厳令みたいな国民の行動制限しかないのです。

日本は違います。和歌山県はもちろんですが、各県の保健当局が必死でがんばっているのが、国民が全面的に自粛で協力するのは、保健当局が失敗して、自らの力を超える感染が広がってしまったときでよいのです。自粛だけが唯一の手段ではないのです。それにこだわりすぎると、経済を破壊し、生活と教育を破壊して、別の所で命さえ失いかねません。

当分の間、コロナはそうはゼロになりません。したがって、コロナがゼロにならないければ教育も県外との往来もすべて許さないという考えはちょっと抑えて、安全な生活、安全な外出に気を付けながら、生活と経済の再建も図りましょう。あとは、コロナとの戦いで設備と装備がより強力になった県の保健行政ががんばります。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。